

第二十七号書式

失権事由非該当申立書	
1 刑に処せられたこと等に関する申立て (次の該当する番号に○印をつけてください。) (1) 請求書に記入した退職年月日後 (2) 別添の刑に関する申立書に記載の刑以外に } 次の事項に該当したことがない。 ・ 3年を超える拘禁刑又は令和4年改正前の刑法の懲役若しくは禁錮^こに処せられたこと。 ・ 在職中の職務に関する犯罪により拘禁刑以上の刑又は令和4年改正前の刑法の禁錮^こ以上の刑に処せられたこと。 ・ 国籍を失ったこと。	
2 再就職に関する申立て(次の該当する番号に○印をつけてください。) 請求書に記入した退職年月日後、国家公務員、地方公務員又は旧公共企業体(三公社)職員として勤務したことが { (1) ない。 (2) ある。 ((2)に○印をつけた方は、その勤務期間などを次に記入してください。) 勤務期間年 月 ～ 年 月 勤務先・官職名 勤務期間年 月 ～ 年 月 勤務先・官職名 (上記の期間、勤務したことにより恩給又は共済年金を受給している場合は、その証書記号番号と発行機関を次に記入してください。) 証書記号番号・年金コード 証書の発行機関	

上記のとおり申し立てます。

年 月 日

申立者氏名